

木更津市鎌足桜保存会が 第27回全国「みどりの愛護」のつどいで千葉県知事表彰を受賞

6月12日（日）に千葉県立柏の葉公園で、皇太子殿下同妃両殿下の御臨席のもとで開催された第27回全国「みどりの愛護」のつどいで、木更津市鎌足桜保存会が千葉県都市緑化功労者知事表彰を受賞した。

今回の表彰は、昨年11月の公益社団法人国土緑化推進機構主催の「第39回全国育樹祭」での国土緑化推進機構理事長賞、今年5月に開催された第51回さくら祭り中央大会で「さくら功労者」の受賞に続いての荣誉、これまでの鎌足桜の保護育成活動や広報活動への取り組みが評価されたもの。

今回の式典には、木更津市鎌足桜保存会の久良知篤史会長、古藤田憲之副会長が出席、また木更津市役所都市整備部の住田厚志部長、大野市街地整備課長も列席され、ニューフィルハーモニー千葉のウェルカム演奏、市立柏高等学校吹奏楽部の演奏・ダンスと合唱のあと、石井啓一国土交通大臣、森田健作千葉県知事、秋山浩保柏市長の挨拶があり、「みどりの愛護」活動事例として柏市の大津川をきれいにする会が紹介された。そして「みどりの愛護」国土交通大臣表彰を受けた全国130団体を代表して石川県金沢市の金沢中心商店街武蔵活性化協議会が国土交通大臣より交付され、また千葉県都市緑化功労者知事表彰を受けた千葉県内24団体を代表して、館山市の館山駅西口地区街づくり協議会が千葉県知事より交付された。

その後、皇太子殿下より熊本地震災害へのお見舞いのお言葉と、「貴重な緑とその緑を源とする清らかな水を守り、新たな緑を育てていくためには、多くの人々がその大切さを理解し、幅広く運動に参加することが重要」と述べられた後、公園内に河津桜の記念植樹が行われた。

